

平成23年2月19日

各位

社団法人 全日本病院協会  
会長 西澤 寛俊  
社団法人 日本医療法人協会  
会長 日野 頌三

## 「平成23年度 医療安全管理者養成課程講習会」開催のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業活動につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

医療の安全確保は、病院団体、職能団体、医療機関および医療従事者に課せられた極めて重い責務であります。しかしながら、昨今安全に関する問題が発生しており、医療における安全の確保は国民の大きな要請にもなっております。

かかる情勢を受けて厚生労働省は、医療機関における安全対策、医薬品・医療用具等に係る安全性向上、医療安全に関する教育研修、医療安全を推進するための環境整備等を骨子とする医療安全推進総合対策をまとめ、平成18年には医療法を改正し、医療安全管理体制の整備を行う医療機関の拡大等を図っております。

当協会では、安全管理・質管理の基本的事項や実務指導に関わる教育・研修を行い、組織的な安全管理体制を確立する知識と技術を身につけた人材（医療安全管理者）を育成・養成することによって、安全文化を醸成し、医療の質向上を図ることを目的に、昨年度に引き続き「医療安全管理者養成課程講習会」を開催することにいたしました。

**当講習会プログラムは平成19年3月に厚生労働省より出された「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に則った内容**となっております。**平成22年度診療報酬改定では、以下のとおり「医療安全対策加算2」が新設され、専任の医療安全管理者の配置で算定可能となりました。**申込者数の増加が予想されます。お早めにお申し込みください。

また、当講習会の講義2クール（4日間）及び演習（2日間）の全日程を修了した方に「認定証」を授与いたします。**本講習会は診療報酬の「医療安全対策加算」取得の際の研修要件を満たしており、「認定証」は研修証明となります。**

会員各位におかれましてはご繁忙中のことと拝察いたしますが、関係者の派遣につき格段のご高配を賜りますようご案内申し上げます。

敬具

平成22年度 診療報酬改定の概要

△医療安全対策について、より多くの病院において医療安全対策を推進する観点から要件の緩和した評価の新設

### 医療安全対策加算

現行（専従の医療安全管理者） 50点

改定後

医療安全対策加算1（専従の医療安全管理者） 85点

医療安全対策加算2（専任の医療安全管理者） 35点

医療安全対策加算2のその他の要件は医療安全対策加算1に同じ。

## 「平成23年度 医療安全管理者養成課程講習会」実施要領

1. 主催：（社）全日本病院協会、（社）日本医療法人協会

2. 開催日時：

第1クール（講義） 平成23年6月10日（金） 9:30～18:20

6月11日（土） 9:00～17:30

第2クール（講義） 平成23年7月29日（金） 9:30～17:30

7月30日（土） 9:00～17:10

第3クール（演習）① 平成23年9月3日（土）、4日（日）※

② 平成23年9月24日（土）、25日（日）**（予備日程）**※

③ 平成23年10月1日（土）、2日（日）※

④ 平成23年10月22日（土）、23日（日）※

⑤ 平成23年11月5日（土）、6日（日）※

⑥ 平成23年12月3日（土）、4日（日）※

※「第3クール（演習）」の日程については上記6つの日程案のうち参加人数により決定いたします。演習は上記6つの日程の中から1日程（土日2日間）にご参加いただきます。参加申込み用紙に、希望の日程を順番に**4日程以上**ご記入下さい。

※「第3クール（演習）」の開催時間・内容はいずれも（土）10:00～18:00 RCA演習、（日）9:00～17:00 FMEA演習の予定です。

※「9月24日（土）、25日（日）」については予備日程となり、申込者数が少ない場合には実施しない可能性がございますので予めご了承ください。

3. 会場

第1,2クール（講義）「ベルサール飯田橋」

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル1F

TEL:03-3346-1396

（東西線 飯田橋駅「A2出口」・・・・・・徒歩2分）

（JR 飯田橋駅「東口」・・・・・・徒歩3分）

（有楽町線・南北線 飯田橋駅「B5出口」・・・・徒歩4分）

（大江戸線 飯田橋駅「C1出口」・・・・・・徒歩5分）

**別紙案内図参照**

第3クール 演習 「全日本病院協会（6F会議室）」

〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル6F

TEL:03-3234-5165 FAX03-3237-9366

（JR「水道橋」駅「西口」徒歩1分）

4. 参加料：会員：80,000円※ 非会員：100,000円  
(第1クール・第2クール・第3クールの受講料、テキスト代、昼食代を含みます)  
※会員：全日本病院協会 及び 日本医療法人協会の会員病院職員
5. 定員：第1クール・第2クール講義：300名(先着順)  
第3クール演習：1回あたり約60～70名前後(第1クール、第2クールとも受講された方のみ受講可能)  
※第3クール演習の参加は第1、2クール受講修了者に限ります。「第3クール(演習)」の日程については上記6つの日程案のうち参加人数により決定いたします。  
※平成20,21,22年度に参加したが、認定証を取得していない方につきましては、個別に対応させていただきますので、下記担当までご連絡をお願いいたします。
6. 申込方法：①申込用紙に必要事項をご記入のうえ FAX(03-3237-9366)よりお申し込み下さい。  
②おって「確認書・参加費お振込のご案内」を FAXにてお送りいたしますので、送付された案内をご確認のうえ、参加費を指定期日までにお振込ください。  
※定員を超えている場合には事務局よりご連絡いたします。  
※演習の参加希望日はご希望に添えない場合もあります。
7. 締切日：平成23年5月27日(金)(定員に達し次第、締切となります)
8. 取り消し：参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。  
資料の発送をもってかえさせていただきます。
9. その他：ご宿泊につきましては各自ご手配願います。  
参加申込の際にお送りいただいた個人情報は適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。

問合先：(社)全日本病院協会事務局(医療安全講習会担当) 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル7F TEL：03-3234-5165 FAX：03-3237-9366
---

## 別紙 会場案内図

第1クール（平成22年6月10日（金）、11日（土））

第2クール（平成22年7月29日（金）、30日（土））



会場名：ベルサール飯田橋

住所：〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル 1F

TEL：03-3346-1396

アクセス：東西線 飯田橋駅「A2出口」・・・・・・・・・・徒歩2分

JR 飯田橋駅「東口」・・・・・・・・・・徒歩3分

有楽町線・南北線 飯田橋駅「B5出口」・・・・徒歩4分

大江戸線 飯田橋駅「C1出口」・・・・・・・・・・徒歩5分

平成23年度  
全日本病院協会・日本医療法人協会  
医療安全管理者養成課程講習会 プログラム

【第1クール】 第①日 6/10(金) 場所:ベルサール飯田橋

9:00	開場
9:30 ~ 9:40	『オリエンテーション』 1) 開会挨拶 ⑤分 2) 研修の目的と趣旨説明 ⑤分 全日本病院協会 常任理事 飯田修平
9:40 ~ 10:30	『なぜ、医療の安全か 質・情報・安全』 ⑤分 練馬総合病院 院長 飯田修平 1) 医療を取り巻く状況 2) 何故、医療の安全か 3) 事故防止から安全確保へ 4) 質重視の病院運営 5) 質向上・情報活用・安全確保
10:30 ~ 12:00 (途中で10分休憩)	『安全とリスクに関する概念(用語)の理解』、『安全管理の必要性・重要性の理解』 ⑨分 宮澤潤法律事務所 所長 宮澤 潤 『安全とリスクに関する概念(用語)の理解』 1) 概念(用語)の理解の必要性 2) 初期対応を誤らないための用語の理解《悪しき結果≠過失》 『安全管理の必要性・重要性の理解』 1) 医療訴訟の実態 2) 対応のポイントー「隠さない」(内部告発の多発化) 3) 異状死の届出義務ー最近の最高裁判例から 4) 「マネジメント」に関する整理 5) 「事故防止・安全管理に関する取り組み」の整理
12:00 ~ 13:00	【昼食休憩】
13:00 ~ 14:00	『医療安全推進の動向』 ⑥分 厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長 渡辺 真俊 1) 安全管理体制の構築と法整備 2) 医療制度改革における医療安全対策 3) 安全確保に関する指針策定 ICUにおける安全管理について 医療安全管理者の業務指針及び養成のための研修プログラム作成指針 4) その他

# 【第1クール】 第①日 6/10(金)

14:00 ~ 14:10

【休憩】

14:10 ~ 15:40

『医療安全管理の基本的考え方』

(途中で10分休憩)

90分

日本医科大学医療管理学教室 教授 長谷川敏彦

- 1)安全管理の考え方の変遷
- 2)患者の安全と職員の安全
- 3)リスク管理
- 4)安全管理者養成研修
- 5)諸外国における安全管理の考え方
- 6)その他

15:40 ~ 15:50

【休憩】

15:50 ~ 17:00

『心理学・労働衛生など』

70分

東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授 長谷川友紀

- 1)医療事故と労働衛生
- 2)医療事故の心理学的背景
- 3)危険予知活動
- 4)その他

17:00 ~ 17:10

【休憩】

17:10 ~ 18:20

『患者・家族の観点から見た安全確保』

70分

ささえあい医療人権センターCOML 山口 育子

- 1)患者・家族の医療に対する基本的ニーズ
- 2)患者の意識の変遷
- 3)COMLに届く相談内容
- 4)患者が望む安全・安心・納得の医療
- 5)患者と医療者のコミュニケーション
- 6)その他

# 【第1クール】 第②日 6/11(土)

9:00 ~ 11:00  
(途中で10分休憩)

## 『人間信頼性工学』

**120分** 中央大学理工学部経営システム工学科 教授 中條武志

- 1) ヒューマンエラーの特性
- 2) エラープルーフ化の原理
- 3) エラー防止のためのチーム活動
- 4) エラー防止の組織的推進
- 5) その他

11:00 ~ 11:10

## 【休憩】

11:10 ~ 12:00

## 『医療の質向上』

**50分** 練馬総合病院 院長 飯田修平

- 1) いま、なぜ、質向上か
- 2) 質の定義
- 3) 医療の質
- 4) 医療経営の質
- 5) 満足  
職員満足 (Employee Satisfaction) ・ 顧客満足 (Customer Satisfaction) ・  
顧客重視・顧客満足
- 6) 患者の要望 (顧客要求) の把握

12:00 ~ 13:00

## 【昼食休憩】

13:00 ~ 14:00

## 『医療の質向上』

**60分** 練馬総合病院 院長 飯田修平

- 7) 保証 (Quality Assurance)
- 8) 質向上 (Quality Improvement)
- 9) 質評価
- 10) 認証/表彰制度
- 11) 医療における質管理  
I C D、D R G・D P C・パス法・質評価指標・E B M・臨床指標  
(C I)・診療指針
- 12) 総合的質経営 (T Q M)
- 13) 医療における総合的質経営  
C Q I (Continuous Quality Improvement) ・ 医療界への T Q M 導入  
の経緯
- 14) 質管理の基本的考え方  
質優先主義・顧客志向・三現主義・後工程はお客様・標準化・継続的改善

14:00 ~ 14:10

## 【休憩】

# 【第1クール】 第②日 6/11(土)

14:10 ~ 16:20

(途中で10分休憩)

## 『安全管理の必要性・重要性の理解』

**100分** 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 准教授 鮎澤純子

- 6) 「リスクマネジメント」に関する整理
- 7) 「クライシスマネジメント」に関する整理
- 8) 安全管理の見直し

## 『医療事故と保険』

**30分** 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 准教授 鮎澤純子

- 1) 「起きた後」に備えてこそリスクマネジメント
- 2) リスクファイナンスとしての損害保険
- 3) 医療事故に関する損害保険
- 4) 「医療行為に起因する医療事故」と「医療施設に起因する医療事故」
  - ① 医療行為に起因する医療事故に対応する損害保険
  - ② 医療施設に起因する医療事故に対応する損害保険

16:20 ~ 16:30

## 【休憩】

16:30 ~ 17:30

## 『安全管理の組織作りとその運営』

**60分** 株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 院長 永井庸次

- 1) 体制づくり(安全管理・品質管理)
- 2) 組織運営
- 3) 推進体制
- 4) 監視・監査体制(自己チェック、内部監査、パトロール)
- 5) 仕組みの管理
- 6) 安全方針
- 7) 安全教育・研修

9:30 ~ 11:40  
(途中で10分休憩)

『質マネジメント概論』

130分

早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科  
教授 棟近雅彦

- 1)基本的な概念  
顧客要求と質・改善のための重要な考え方・標準化と改善・  
QMS (Quality Management System)  
組織的質向上活動に必要な要素・QMSによる質保証・QCストーリー
- 2)TQM(Total Quality Management)の概要
- 3)質マネジメントの歴史  
質マネジメントの誕生と日本での発展・米国での進展・ISO関連の経緯
- 4)TQMにおける主要な管理方式  
日常管理・管理項目・方針管理・3つの管理の関係

11:40 ~ 12:40

【昼食休憩】

12:40 ~ 13:30

『病院組織概論』

50分

練馬総合病院 看護部長 高橋礼子

- 5)院内組織の活性化  
公平性と透明性  
既存組織の尊重
- 6)職員および患者・家族に対する支援体制
  - ① 事故発生後の対応
  - ② 職員に対する精神的支援体制
  - ③ 患者および家族に対する支援体制
- 7)院内暴力への対応と職員教育
- 8)警察・行政への対応

13:30 ~ 13:40

【休憩】

13:40 ~ 15:10  
(途中で10分休憩)

『物の管理』・『情報の管理・伝達』

90分

おびひろ呼吸器科内科病院 事務長 森山 洋

『物の管理』

- 1)建物・設備
- 2)医療機器
- 3)診療材料
- 4)医薬品
- 5)その他

『情報の管理・伝達』

- 1)診療情報
- 2)経営情報
- 3)情報伝達 (職員、患者、家族、地域、官庁、団体)

15:10 ~ 15:20

【休憩】

# 【第2クール】 第①日 7/29(金)

15:20 ~ 16:20

## 『インシデント事例報告の活用方法』

60分

練馬総合病院薬剤科 科長 金内幸子

ヒヤリハット報告収集とその活用  
対策実施対象の選定  
MQI活動事例報告

16:20 ~ 16:30

## 【休憩】

16:30 ~ 17:30

## 『医療の質向上活動推進・改善体制』

60分

練馬総合病院 副院長 柳川達生

1)推進体制  
2)信頼性手法の活用事例  
業務フロー図作成  
RCA・FMEA

# 【第2クール】 第②日 7/30(土)

9:00 ~ 11:00  
(途中で10分休憩)

## 『質マネジメント概論』

(120分) 玉川大学経営学部国際経営学科 教授 大藤 正

### 5) 質管理(QC)手法/技法

① 作る道具と使う道具

② 品質管理とデータ

データをとる目的・データの種類

③ QC七つ道具

パレート図、特性要因図、ヒストグラム、チェックシート、散布図、  
管理図/グラフ、層別

④ 新QC七つ道具

親和図、関連図、マトリクス図、系統図、PDPC、  
アロー・ダイヤグラム、マトリクス・データ解析

### 6) その他の手法

FMEA(Failure Mode and Effects Analysis)/FTA(Fault Tree Analysis)

QFD(品質機能展開)・QC工程表

11:00 ~ 11:10

## 【休憩】

11:10 ~ 12:20

## 『情報提供・収集』、『事例収集と分析・改善・標準化・未然防止』

(70分) 国際医療福祉大学薬学部薬学科 教授 池田俊也

### 『情報提供・収集』

1) 情報提供・開示

2) 情報収集(患者の意識を把握する方法)

### 『事例収集と分析・改善・標準化・未然防止』

1) 安全に関する取り組みの経緯

① 各国の現状と取り組み(米・英・豪)

② 我が国の現状と取り組み

事例収集

診療記録調査(chart survey)

2) 質と安全を保障するための診療記録

12:20 ~ 13:20

## 【昼食休憩】

13:20 ~ 15:40

## 『基本統計の理解』

(140分) 国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部 主任研究員  
小林美亜

1) 統計の基本的考え方

2) 統計の使い方(質の評価・安全確保)

3) 代表値: 平均・分散・中央値・信頼区間

4) 検定・有意差  $t$ ・ $\chi^2$ ・ $F$

5) パレート分析

6) 事例解説: 目的に応じた統計手法の選択とその使い方

(途中で10分休憩)

# 【第2クール】 第②日 7/30(土)

15:40 ~ 15:50

【休憩】

15:50 ~ 16:50

『病院組織概論』

⑥0分 禎心会病院 理事長 徳田禎久

1)有機的組織確立の理論

①組織の理解

②病院組織の問題点

③機能的な組織図

2)組織管理

①組織管理の目的

②ミッションに基づく組織管理

③組織行動

④組織管理の実際

3)組織分析 監査システム

4)組織変革

①改革の意義と必要性

②改革の実践

16:50 ~ 17:05

『全体のまとめ』

①5分 全日本病院協会 常任理事 飯田修平

17:05 ~ 17:10

『閉会挨拶』

⑤分